

	<h2>33. 木工章</h2>	★ 考査員認定	
---	------------------	---------	--

考査細目	考査方法	考査のポイント
(1) 木材10種以上を見分け、その特徴と用途を知ること。	実演および口述	・ 木材の標本を提出させることもよい。
(2) のこぎり、糸のこぎり、かんな、のみ、小刀、きり、ドライバー、金づち、ペンチ、釘抜きを正しく使用でき、その手入れと保存を実行していること。	実演および口述	・ 隊や班の備品の保守管理として行うのもよい。 各木工具の基本的な用法を理解していること。
(3) 木材の接合(貼り付け、釘付け、簡単な接手仕口)ができること。	作品の提出	—
(4) 次のうちからそれぞれ1つを作品として提出すること。(塗装を含む) ア 簡単な机、椅子、本箱、書棚 イ 筆箱、筆立、本立、額縁、はし箱、すずり箱	作品の提出	・ 学校での作品でもよい。 ・ アイデアスケッチ、設計図が添付されてることが望ましい。